

令和5年8月17日（令和5年(2023年)度第23号）

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
http://www.z-hoikushikai.com

<ニュースの内容>

■ 食育推進研修会を開催

■ 食育推進研修会を開催

本会では、8月7日（月）～8日（火）の2日間、ホテルグリーンタワー幕張（千葉県千葉市）において、令和5年度食育推進研修会を開催しました。今回は4年ぶりとなる参集形式と、アーカイブ配信（8月21日～8月30日）にて実施しました。

保育所・認定こども園等における食育の取り組みは、保育の重要な役割であり、子どもたちが生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送るための基礎となる「食を営む力」を育むことにつながります。このことから本会では、保育所・認定こども園等における食育の意義を考え、子どもの豊かな育ちと保育の質の向上をめざして、「食育推進研修会」を開催しています。

今年度の研修会では、子どもの状態にそった食育のあり方や、食育計画をもとにした食育実践について理解を深めるとともに、各職種の専門性を活かした連携の重要性を学びました。

【第1日】8月7日（月）

■ 講義 I 『家庭と協働する食育～保護者支援も含めて～』

講師：堤 ちはる 氏（相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 教授）

子ども一人ひとりの食に関する環境を見立て、望ましい食生活を保護者と共有して考える手立てについて講義が行われました。近年の家庭の食に関する動向や保護者の食に関する困りごとへの理解を深め、家庭での食育を支援していくための具体的手法を学ぶことができました。



1日目の様子

■講義Ⅱ『子どもの口腔の状態に応じたアプローチ』

講師：浜野 美幸 氏（千葉歯科医院 院長/日本小児歯科学会常務理事/日本小児歯科学会専門医指導医）

口腔機能の発達について講義が行われました。口腔機能の基本的知識や口腔内の状況を確認する際のポイント、口腔機能不全に対するアプローチ等を、実習を交えて学ぶことができました。

【第2日】8月8日（火）

■講義Ⅲ『地域の特性を活かした食育計画の策定と実践』

講師：野口 孝則 氏（上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授）

保育所・認定こども園等における食育について、各職種の専門性を活かした連携や、地域の関係機関との連携について講義が行われました。

また、「自園で行っている食育について」等のグループワークをとおして、食やいのちに対する子どもの興味・関心を引き出す食育計画の立て方について学び、「保育所・認定こども園ならではの食育」を考えました。



グループワークの様子

参加者からは、

- ✚ 歯並びだけでなく、舌や口唇の使い方や筋力がいかに大切か、実践を含めて知ることができた。子どもたちの姿を見直し、保育者だけでなく保護者へも口腔機能について伝えたい。
- ✚ 顔を突き合わせてのグループワークで各園の現状が知れて、聞きたいことがすぐに聞けてよかった。
- ✚ 食育はクッキングができないから減ってしまっていると思っていたが、今日の講義で日々の給食が食育になっていて、その中での幅を子ども達に応じて広げていきたいと思った。
- ✚ ただ書くだけの計画ではなく、目の前の子ども達を置き去りにしない食育計画の作成が大事だということを学んだ。

などの声が寄せられました。

本研修会は、来年度も開催予定です。みなさまのご参加をお待ちしております。